



M5

コンパクト 1/2インチ・カーディオイド
コンデンサーマイク

www.rodemic.com/m5

M5 は音声を忠実に再現するために設計された、高品質のハーフインチ・コンデンサーマイクです。カーディオイドパターンを持つ単一指向性マイクであると同時に、エンドアドレス型のため、マイク後方からの音を遮断してマイク正面の音だけをピックアップするようにデザインされています。

このピックアップパターンにより、他の楽器音、ノイズや周囲の音源レベルを抑えながら、拾いたい音源のみを録音することができます。

M5 は音楽の録音に最適ばかりではなく、自然環境での録音や撮影セット内等の屋内での会話の録音にも性能を発揮するマイクです。

この一組のマイクは、ステレオ構成で使用する際に音響が完璧に一致するようにと、RØDEのオーディオ・エンジニアリングチーム自らが選び、組み合わせた製品です。

- 金メッキ仕様1/2インチ・カプセル
- カーディオイド極性パターン
- メタルボディ構造
- 超低ノイズ・トランスレス回路
- 最先端の表面実装
- 丈夫なマットブラック仕上げ
- 金メッキ仕様の出力コネクター
- オーストラリアでデザイン/製造
- **www.rodemic.com/warranty** でのオンライン登録により、無償で10年間の保証を受けることができます。

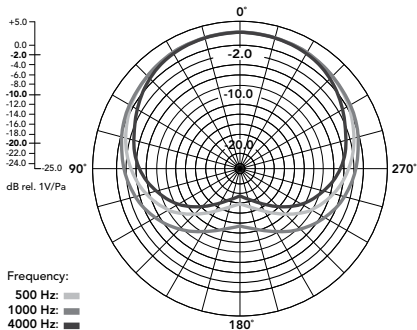
M5は制限保証として購入日から1年間の保証が付いています。購入されたマイクを下記のウェブサイトでオンライン登録すれば、10年保証に無償で延長することができます。



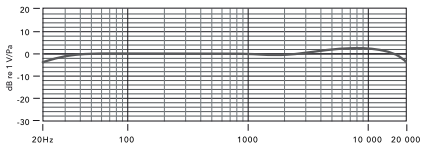
貴方のM5一組を登録すれば、今すぐ10年間の保証を無償で受けることができます。

スマートフォンで QR コードをスキャンするか、またはwww.rodemic.com/warrantyへアクセスしてください。

極性レスポンス



周波数特性



指向特性	圧力傾度
アクティブ エレクトロニクス	バイポーラ出力バッファ付きJFETインピーダンス変換器
指向特性	単一指向性
周波数帯域	20Hz~20kHz
出カインピーダンス	200Ω
等価ノイズレベル	19dBA SPL (as per IEC651)
最大出力	+13.5dBu (1kHz, 1% THD into 1kΩ load)
感度	-34dB re 1V/Pa (20mV @ 94dB SPL) ±2dB @ 1kHz
ダイナミックレンジ	121dB SPL

最大SPL	140dB
S/N比	75dBA SPL (as per IEC651)
電源	24V ファンタム電源 48V ファンタム電源
出力コネクタ	3 ピン XLR ピン 2 (+)、ピン 3 (-) 及びピン 1 (アース)間バランス出力
重量	80g
付属アクセサリ	RM5 マイククリップ (x2) WS5ウインドシールド (x2)

ファンタム電源をマイクへ供給する前に**ケーブルは全て接続しておきます**。また、電源が接続されている間は、決してマイクケーブルを外さないでください。

M5 には 48V DC (**P48**) または 24V DC (**P24**) ファンタム電源が必要です。ミキサーやプリアンプからこの条件のファンタム電源が供給できない場合は、外部からファンタム電源を供給する必要があります。

ファンタム電源装置の中には、定格通りの電圧を供給しないものもあります。必要な電圧が供給されないと、マイクのダイナミックレンジや本来の性能を十分に発揮できなくなります。

品質の高い電源を使用される事をお勧めします。電源装置の欠陥に起因する損害は、保証の対象とはなりません。

ファンタム電源とは？



全てのコンデンサーマイクは、マイクの内部回路を動作させる電源を必要としています。

ファンタム電源は直流電圧であり、XLRケーブルを通してマイク回路の動作に必要な電気をマイクへ供給するため、マイク用の外部電源は必要ありません。

ほとんどのミキサー、オーディオ・インターフェース、プリアンプユニットにはファンタム電源のスイッチが備えられています。お手持ちの機器にファンタム電源が用意されていない場合は、外部電源を購入し、プリアンプと M5 の間に設置して使用してください。ファンタム電源が **P48** (48V DC) または **P24** (24V DC) のどちらかで、正常に作動することを確認してください。

M5 の整合ペアにはRM5 スタンドマウント 1組が付いています。これらには、基部には標準タイプ5/8インチの溝が備えられ、また 3/8インチのアダプターも付いているため、取り付けの用途がさらに広がります。

M5を RM5 に取り付ける際は、マイクの基部をマウントの後部へ接地させ、マイクがマウントにカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。

RM5 のテンションは、マウント側面のレバーを使用して調節することができます。

M5 はエンドアドレス型マイクのため、メッシュヘッドを常に録音したい音源へ向けて使用してください。

録音する際の音源が、ボーカルや楽器、またはそれ以外のいかなるものであっても、できる限り最良のサウンドをピックアップできるように、マイクの設置には十分に時間をかけて試す必要があります。そのためには、EQやその他のサウンドプロセッサで後から加工や補正を試みるよりも、何回でも必要なだけマイクの位置を調節することが重要です。

EQセクション内蔵のインターフェース、チャンネルストリップ、またはミキサーを利用した録音を行う場合は、常にEQをフラット（カットやブースト無し）に設定するか、できればオフにして録音を開始します。マイク配置が決まった事で望み通りのサウンドが得られれば、後はEQ、コンプレッション、リバーブやその他エフェクト等の音響処理を加えることで録音したサウンドをさらに改良することができます。

EQは常に控えめに使用するのがベストであり、録音したサウンドを変えようとするのであれば、他の周波数域をブーストするよりもむしろ、不必要な周波数を先ずカットすることから始めてください。

録音プロセスに関するその他のアドバイスと同様に、これといった音を見つけられるかどうかは、実際に試してみるかどうかにかかっています。自分にとって最高に聞こえる音が見つかるまで、あきらめずに何度でも試してみる事が大切です。目ではなく、自分の耳で聞くことです！

1本のマイクを使用する、またはステレオとしてマイクをペアで使用する場合でも、M5マイクの設置位置に関して**決められたルールはありません**。とはいえ、最良の結果を得るためにはほぼ全ての状況において、以下のヒントが出発点となります。M5でピックアップしたいサウンドを得ようと思った場合は、気楽に自分で考えたマイクの設置を実際に試してみてください。



M5のステレオアプリケーションがわかるビデオを見ることができます。このコードをスマートフォンでスキャンするか、またはrockro.de/m5stereoへアクセスしてください。

ステレオで使用する際の間隔

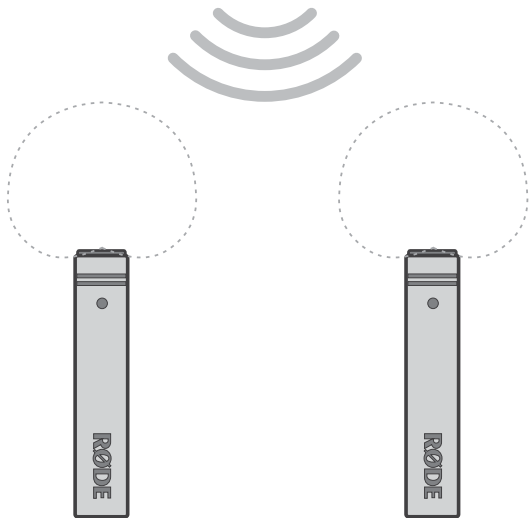
M5 マイクをペアで間隔をあけた構成で取り付ける際は、それぞれのマイクを個々のマイクスタンドに取り付ける必要があります。正確なマイクの位置決めと方向を実験する際は、フェーズを一致させるために信号を聞きながら行なうのがベストです。



スペースを取ったペアのマイクは、複数の音源、またはより広い範囲に及ぶ楽器の音、やサウンド本来の表現をピックアップするために1つ以上の音源を要する録音を行なうときに理想的です。

通常でも、非常に広いステレオイメージを再現し、コーラスやアンサンブルのような音源の録音に最適ですが、正しく使用することで、驚くほど素晴らしい個々の楽器の再現が可能です。

音源



ステレオ X/Y

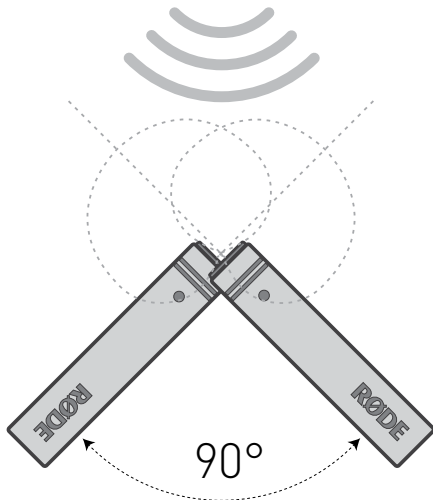
M5 のペアを X/Y 構成で取り付ける際は、両方をステレオバーへ、あるいは2本のマイクスタンドへ別々に取り付けてください。マイクはお互いに 90° の正しい角度に設置し、それぞれのカプセルは垂直に上へ向けて取り付けます。



X/Y 構成は、最適なフェーズ整合と共に音源をステレオで同時にピックアップする際に使用するステレオ技術であり、録音したサウンドはステレオで素晴らしい再現ができるだけでなく、モノでも素晴らしいサウンドが再現できます。

この効果を得るためには、サウンドが同時にカプセルへ届くように、カプセルのどちらかがもう一方の上方で、垂直軸のできるだけ近い箇所に設置する必要があります。X/Y 構成はモノの互換性に利点があり、また使い易い一方、ステレオイメージに関しては、ORTF やスペースを取ったペアの構成等の他の技術と同等の広がりは得られません。

音源



ステレオ ORTF

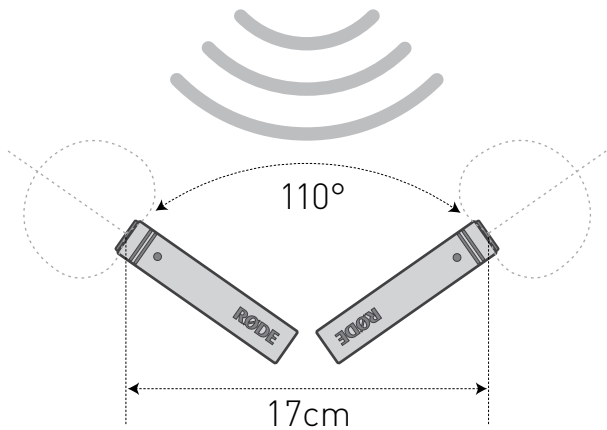
M5 のペアを ORTF 構成で取り付ける際は、両方をステレオバーへ、あるいは2本のマイクスタンドへ別々に取り付けてください。それぞれのマイクは互いに 110° の角度で外側へ向け、カプセル間には 17cm の距離を置いて取り付けます。



ORTF の技術は、1960 年頃にフランスの国営テレビ・ラジオ局“Office de Radiodiffusion Télévision Française”で考案され、本来は人間の聴力の反応を模倣するために考えだされた方法です。

カプセル間の距離を広げると、X/Y やミッドサイドのようなステレオで同時に録音するマイク技術よりも、さらに広いステレオイメージを再現する事ができます。

音源



M5の使用後は、マウントからマイクを取り外し、乾いた柔らかい布で清掃してから保管して下さい。

保管の際は、残った湿気を吸収させるため、付属の乾燥剤を必ずマイクのヘッドの位置に置いてください。その場合、乾燥剤そのものを除湿する必要があります。吸湿効果がなくなってくると結晶体がピンク色に変色します。

この乾燥剤は 100~150℃のオーブンの中で約 10 分間加熱するだけで、再利用する事ができます。青色に変われば、再び乾燥剤として効果を発揮します。

万が一 RØDEマイクを使用中に異常を感じたり、不明な点がある場合は、先ず購入された販売店にお問い合わせください。

正規サービスでの修理が必要な場合、製品の返品は販売店が行いません。

代理店や販売店は国内中にありますが、製品に関する問題や、求めるアドバイスがなかなか得られない場合は、遠慮なくRODEに直接ご連絡ください。

www.rodemic.com/supportにアクセスし、問い合わせ先詳細や、FAQ掲載の質問リストをご参照いただく事もできます。

輸入業者&ディストリビューター

インターナショナル輸入業者&ディストリビューターの詳細なリストは、**www.rodemic.com/distributors**のウェブサイトをご覧ください。

インターナショナル

107 Carnarvon Street
Silverwater NSW 2128
オーストラリア

USA

2745 N Raymond Ave
Signal Hill CA 90755
USA

PO Box 91028
Long Beach CA 90809-1028
USA